



なかやま たかし  
中山 敬志 さん (77)

杵野地区出身。農業を営みながら同地区のひがん花まつり実行委員長を歴任するなど地域を盛り上げることに貢献。自身が受け継ぐつづら工芸は多くの人気を集め、今年5月に県指定伝統的工芸品に指定される。



つづら工芸  
×  
中山 敬志

▼のどかな田園風景が広がる杵野地区で、農業を行う傍らつづら工芸作りを取り組むのは中山敬志さん。工房にはこれまでに作られた作品がずらりと並びます。

▼つづら工芸は、野山に自生するツラフジのツルで様々なかごを編む同地区の伝統技法。使い込むほどに独特の色味が増し、素朴でありながら美しい外観と、10年以上使っても壊れない丈夫さを兼ね備えています。「同じ編み方でもツルの色や太さ、幅がそろっていないので出来栄が全然違う。作品それぞれに個性が生まれるから奥が深い」と中山さんはつづら工芸の魅力を語ります。

▼中山さんがつづら工芸を始めたのは定年を過ぎてから。宮之城伝統工芸センターのつづら工芸教室に通い始めたのがきっかけです。4年間通い基礎を学び、その後も腕を磨き続け、自分の作品を編み上げるようになり。当時からつづら工芸の技法を受け継ぐ人は少なく、現在は中山さんが県内で唯一その技法を受け継いでいます。「つづら工芸を受け継ぐ人が少ないのは知っていたので、伝統ある技法を絶やしたくない」と思い入門しました」と当時の心境を語ります。



様々な編み方によって作品一つ一つに個性が生まれます。

# B&G B & G 海洋センターからのお知らせ

問 B & G 海洋センター (薩摩教育係) 電話: 57-0970

## 01 夏の水難事故に注意

海や川、プールでの水難事故は夏に集中しています。水辺では必ず大人が付き添いましょう。町 B & G 海洋センターでは、町内の小学生に水辺で遊ぶときの注意点や、溺れたときの対処法と救助方法を学ぶ「水辺の安全教室」を行っています。



### もしも水に落ちたら

- ・服は着たまま  
服や靴は空気を含んでいるため、身体を浮きやすくし、体温の低下を防ぐ効果があります。
- ・あわてずに力を抜く  
力を抜いて身体を大の字にして浮きます。上を向き胸を張ると浮きやすくなります。
- ・無理に泳がない  
救助に時間がかかる場合も多いので、身体を浮かせて体力を温存するようにしましょう。



CAUTION

### 水辺で遊ぶときの注意点

- ▶遊ぶ前に天気予報を確認しよう!
- ▶身体に合うライフジャケットを着よう!
- ▶水辺に一人で行かないようにしましょう!
- ▶溺れている人がいたら助けを呼ぼう!
- ▶水に落ちたらあわてず浮いて待とう!

### 溺れている人を見つけたら

- ・まずは落ち着く  
周りの人に協力を求めましょう。川の場合は消防119番へ、海の場合は海上保安庁118番へ。
- ・水に入って救助しない  
溺れた人が救助者をつかんで離さない場合があります。陸からの救助を優先的に考えましょう。
- ・浮くものを投げる  
浮き輪や大きめのペットボトルなど浮きそうなものを、なるべく顔の近くに投げましょう。

## 02 B&Gプールがオープンします

期間 7月16日(土)～8月31日(水)  
時間 午前10時～午後5時  
(7月16日は午後1時～)  
※正午～午後1時は休憩時間  
休館日 毎週月曜日  
※7月18日の海の日は営業  
(高校生以下は無料)  
料金 乳幼児～小学生 ……50円  
中学生、高校生 ……100円  
一般 ……210円  
その他 水泳帽子の着用が必須  
小学3年生以下は保護者同伴

## 03 夏休み水泳教室の生徒募集

開催日 7月: 26日～28日  
8月: 2日～5日、9日  
時間 ○低学年の部(1年生～3年生)  
午後1時30分～午後2時30分  
○高学年の部(4年生～6年生)  
午後3時～午後4時  
内容 水泳初心者が対象です。水に慣れることから指導します。  
定員 低学年、高学年それぞれ15人  
申込方法 薩摩教育係にある申込用紙に必要事項を記入し、7月15日までに申し込みください。

▼注文の多くは県外からと話す中山さんは「興味を持ってくれる人がいるのはありがたい。自分の作品を見た人がどう感じたか聞いてみたい」と笑顔を見せます。様々なデザインと注文を受け、持ち前の探求心で芸術的な作品を生み出します。他の作品を参考にすることもあり、旅行で訪れた民芸品店では、つい足を止めて見入ってしまうそうです。

▼中山さんの悩みはツラフジが手に入りづらくなっていること。「全ての注文には応えられないのが現状です。つづら工芸を教えてほしいという方もいますが、材料が少なくなくて教えたとしても教えられる」と伝統を伝えていくことの難しさを話します。「続けることが大切。無くなってしまうと再び始めるのは難しい。伝統を守るために興味がある人には教えた」と困難な状況でも中山さんの強い気持ちは変わりません。